

が一日延長となり、現在の着陸予定時刻は4月 19 日(月)21 時 53 分となっている。

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 4 月 7 日(水) ~ 平成 22 年 4 月 13 日(火))

平成 22 年 4 月 14 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 国際宇宙ステーション (ISS) における日本人宇宙飛行士の状況
山崎直子宇宙飛行士が搭乗するスペースシャトル「ディスカバリー号」は、4月7日(水)16時44分(日本時間、以下同じ)に国際宇宙ステーション (ISS) とドッキングした。同日 18 時 11 分に山崎宇宙飛行士らクルーが ISS に入室し、ISS 長期滞在中の野口聡一宇宙飛行士らと合流した。
飛行4日目には山崎直子宇宙飛行士が操作するISSのロボットアームにより、スペースシャトル「ディスカバリー号」の貨物室から、多目的補給モジュール「レオナルド」が取り出され、ISS の「ハーモニー」(第2結合部)の下側(地球側)に無事取り付けられた。
飛行8日目にはISSと首相官邸をつなぎ、山崎宇宙飛行士及び野口宇宙飛行士と、前原宇宙開発担当大臣、平野内閣官房長官及び千葉県松戸市(山崎宇宙飛行士の地元)の小・中学校の児童・生徒との交信イベント(VIP コール)を行った。
なお、スペースシャトル「ディスカバリー号」は、熱防護システム(TPS)の点検を、ISS とドッキング中に行うため、ミッション期間

- 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) とオランダ宇宙局 (NSO) が機関間協力協定を締結
4月12日(月)、在日オランダ大使館において、JAXA と NSO の間で「平和目的の宇宙協力のための宇宙航空研究開発機構とオランダ宇宙局との間の協定」を締結した。これにより両組織の潜在的な互惠協力分野を特定し、協力を促進することを目指す。
 - (1) 目的
平和目的で互恵的な宇宙協力を促進するため、潜在協力分野の抽出やその実施における手続き等を定めること。
 - (2) 協力分野
 - [1] 宇宙科学協力を最初の協力分野として推進する。
 - [2] その他の将来的な潜在協力分野については、相互の合意により追加できる。
- 陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS) と NASA データ中継衛星間のデータ伝送の運用開始
JAXA 及び NASA は、昨年6月に締結した JAXA の陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS) と NASA のデータ中継衛星システム (TDRSS) との連携協力に関する協定を踏まえ、今般、北・南米地域の地震災害、森林減少及び水資源変動の観測頻度を飛躍的に向上するため、両衛星間のデータ伝送の運用を開始した。
これまで、「だいち」からのデータの多くは、JAXA のデータ中継技術衛星「こだま」(DRTS) を経由して地球観測センターで受

信していたが、今後は、「こだま」に加え TDRSS を利用することにより、より高頻度の観測(データ量として約 2 割の増加、北・南米地域に限定すれば約 2 倍に増加)を実現させることができるようになる。なお、TDRSS 経由で受信された ALOS データのユーザへの配布も同日付で開始された。

- すざく衛星の観測成果の公表

4 月 7 日(水)にプレスリリースとして、理化学研究所と台湾中央研究院を中心とした研究グループが、X 線天文衛星「すざく」を用いて、従来は観測できなかった銀河団の境界領域の高温ガスを観測し、米国の天文台のデータとすばる望遠鏡の可視光観測も含めた共同観測により、銀河団が動的に成長していく姿を初めて明らかにすることができた。

この成果により、今後は多くの銀河団でも観測を行い、理論やシミュレーションと比較し、宇宙の構造がどのように進化していくかを解明することが期待される。

宇宙開発に関する海外の動向

- ドニエプルロケットによる地球観測衛星の打上げに成功

【露、欧州】

4 月 8 日(木)13 時 57 分(世界標準時)、ISC コスモトラス社は、バイコヌール宇宙基地よりドニエプルロケットを打ち上げ、欧州宇宙機関(ESA)の地球観測衛星「CryoSat-2」の所定の軌道投入に成功した。打上げ時の質量は約 720 kg。